

## 開校式式辞

うらかな春の光が降り注ぐこのよき日に、本日ここに世田谷区立北沢学園中学校の開校式を挙行できますことは、私たちにとって大きな喜びであり、新たな歴史の一步となります。

さて、本日この場に集まった生徒の皆さん。皆さんは今日、どのような気持ちでこの式に臨んでいるでしょうか。「新しい生活への期待」がある一方で、「本当に自分に合う場所なのだろうか」という、少しの不安を抱えている人もいるかもしれません。

本校は「学びの多様化学校」として誕生しました。この学校の名前に込められた「多様化」という言葉には大切なメッセージがあります。それは、「学びのかたちは一つではない」ということです。

これまでの学校教育の中で、息苦しさや違和感を抱いたことがある人もいるでしょう。しかし、それは皆さんが間違っているからでも、何かが足りないからでもありません。ただ、これまでの「学校の枠組み」が、皆さんの豊かな個性や、学びたいという純粋なエネルギーに、たまたま合っていなかっただけなのです。

今日からは、この新しい学校が皆さんの母校となります。

ここでは、誰かと比べる必要はありません。自分のペースで、自分が「知りたい」「やってみたい」と思うことから始めてくださ

い。時には立ち止まり、ゆっくりと自分を見つめ直す時間も大切にしてほしいと思います。そのプロセスすべてが、皆さんにとっての「学び」であり、かけがえのない成長の糧となります。

私たち教職員も、皆さん一人ひとりの声に耳を傾け、共に考え、皆さんが自分らしくいられる居場所を一緒につくっていきます。失敗を恐れる必要はありません。ここは何度でもやり直しができ、自分なりの納得解を見つけていける場所です。

保護者の皆様、今日までお子様を温かく見守り、支えてこられたことに深く敬意を表します。これからご家庭と密に連携し、お子様が安心して学べるよう全力を尽くしてまいります。どうぞ、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。また、開校にあたりご尽力いただいた保坂世田谷区長、知久教育長をはじめ、区議会の皆様、多くの関係の皆様、地域の皆様に厚くお礼を申し上げます。

結びに、北沢学園中学校が、生徒の皆さんにとって「自分をもっと好きになれる場所」となり、ここからそれぞれの未来へと、自由に翼を広げていくことを心から願い、式辞といたします。

令和8年4月14日

世田谷区立北沢学園中学校 校長 加藤敏久